

当公社が2019年から基盤整備に取り組んできた民泊による修学旅行の受入が、今年11月からようやく始まります。今月号では受入予定の学校・行程をご紹介しますとともに、改めて民泊による修学旅行の意義などについてもご案内します。

## 民泊の動向

近年、民泊を活用した修学旅行の受入が注目されています。令和元年度の調査によると、**近畿地区では公立中学校の50%以上が修学旅行で民泊を利用している**ことがわかっています。**民家の方との交流を通して、「コミュニケーション能力」「自立心」を養うことができる**ということが高く評価されており、**今後も継続して民泊を利用したいという学校も8割に上っています**。

## 民泊の意義－持続可能な日本の社会づくり－

\*当公社では、以下のような認識のもと、民泊による修学旅行の誘致に取り組んでいます。

- 受入地域**
- 生きがいづくり…子どもたちとの交流を通して、やる気・元気が出る。
  - 地域づくり…経済的な効果はもちろん、地域内での結束力が高まり、地域全体が活気づく。
  - 未来づくり…地域産業に根差した体験を展開することで、後継者を育てる。

**交流・関係人口の拡大/移住・定住人口の拡大**

- 生徒**
- 生きる力づくり…交流を通して、コミュニケーション能力、問題解決能力を育む。
  - きっかけづくり…農村漁村の暮らしを通して、日本が抱える様々な課題について考える。

## 民泊による修学旅行の受入について

今年度は、以下2校の受入を予定しています。(詳細は裏面をご覧ください。)

受入日	学校名/都道府県	生徒数	宿泊
11/17(木)~11/18(金)	宝仙(ほうせん)学園高等学校/東京都	224	南予民泊
11/28(月)~11/29(火)	明星(めいせい)高等学校/東京都	71	

## 研修会の開催

民泊(愛媛県農山漁村生活体験民泊)を受け入れるためには、年1回以上の衛生管理や安全対策に関わる研修会に参加することが要件の一つになっています。八幡浜市では9月11日(日)にみなと交流館の多目的ホールで講師の藤澤安良氏(全国ほんもの体験ネットワーク会長)をお招きして、修学旅行受入研修会を開催しました。八幡浜、内子、大洲、伊方の受入民家さんを対象とした研修会で、参加者は32名でした。夏に増加したコロナの心配もありましたが、9月中旬以降落ち着き始め、民泊先へのアンケートでは「十分な感染対策をもと受け入れたい」という声が多かったです。



## 民泊受入民家開拓状況

地区	軒数
磯津地区	2軒
宮内地区	1軒
日土地区	1軒
白浜地区	1軒
川之内地区	1軒
舌田地区	3軒
川上地区	2軒
真穴地区	2軒

いよいよ、八幡浜市で初めて修学旅行の民泊を受入する日が迫ってきました。**八幡浜市では2校の修学旅行で、合計13軒の民家さんが民泊を受け入れます**。コロナが比較的落ち着いている時季とはいえ、民泊自体が初めての経験で不安な思いを抱いている方もいると思いますが、みなさん修学旅行生が来るのを楽しみに待っています。

12月10日(土)には、南予での教育旅行の受入に関わったインストラクター、受入組織関係者、民泊受入民家の方々の情報共有の場として、「南予体験交流フォーラム」を開催予定です。現在、修学旅行のPR動画作成に向け準備しているところで、完成が間に合えばその動画のお披露目をするになっています。

## 宝仙学園高等学校の行程

11月17日(木)

13:40-14:00

(道の駅みなつと)  
入村・対面式

民泊先  
→  
自家用車等

14:20-16:30頃

ふれあい交流  
(家業) 体験

徒歩等

17:00頃-

民泊

11月18日(金)

-13:00

ふれあい交流  
(家業) 体験  
※昼食込み

徒歩等

民泊先  
→  
自家用車等

13:20-13:40

(道の駅みなつと)  
離村式

中高一貫の私立の学校(共学)です。5年生(高校2年生)7クラス224名を南予8地区(内子町・大洲市、伊方町・八幡浜市・西予市狩江地区・西予市野村地区・松野町・愛南町)で受け入れます。コロナ禍以前の修学旅行の先行はアメリカでした。5泊6日の行程の内の1泊2日を南予で過ごします。

## 明星高等学校の行程

11月28日(月)

16:40-17:00

(道の駅みなつと)  
入村・対面式

民泊先  
→  
自家用車等

17:20頃-

民泊

徒歩等

-13:00

ふれあい交流  
(家業) 体験  
※昼食込み

民泊先  
→  
自家用車等

11月29日(火)

13:30-13:50

(八幡浜市役所)  
離村式

徒歩等

14:00-16:00

地域住民との  
ディスカッション

中高一貫の私立の学校(共学)です。高校2年生約1300名の内、2クラス71名を八幡浜市、西予市狩江地区の2地区で受け入れます。こちらの学校は事前学習会をオンラインで2度開催しています。自分たちで八幡浜がどういう場所か、どんな課題があるのかを調べて訪れることになります。民泊最終日のディスカッションは八幡浜の課題に対する解決策について話し合う予定です。

## 10月27日(木)千葉県立農業大学校の体験受入について

千葉県立農業大学校の1年生、2年生の合計94名が視察研修で四国に来られ、当コーディネートのもと、西予市野村地区と狩江地区に分かれて体験を実施しました。前泊は道後温泉、27日(木)の体験の前には内子に滞在しており、体験後はイヨスイ(株)という宇和島の水産関係の会社の視察へ行くという行程でした。学習の一環ということで、事前にオンラインにて、野村地区と狩江地区の特徴や取組についてと、体験できるプログラムの説明会を行いました。

**狩江地区**では、防波堤釣り体験

(14名)、真珠アクセサリづくり(12名)、柑橘収穫体験(11名)、カゴ漁体験(5名)、みかんジャム・果物を使ったお菓子作り体験(14名)に分かれて体験していただきました。

**野村地区**では、

ジオサイクリング(20名)、竹林整備・竹あかり(7名)、ジビエ料理づくり体験(6名) 藍染め体験(5名)に分かれて体験していただきました。



## あとがき

今回ご紹介したような、地域課題解決型の修学旅行や、SDGs学習を希望する修学旅行が今後増える傾向にあるように思います。SDGs学習の需要に応えられる地域作りを目指して、先進地への視察研修の準備をしているところです。(山下)

発行日：2022年11月

発行者：(一社)八幡浜市ふるさと観光公社

TEL：0894-22-0855 FAX：0894-22-5653

八幡浜市観光物産情報：<https://yawatahama-kankou.com/>

ふるさと南予感動体験：<https://furusato-nanyo.com/>